

あなたの心にジャストミート 9月15日メッセージ
みことばであらわに(ルカ 8:9-18)

その人が祝福の人なのか、違うか判別する基準は、みことばにどのように反応を示すかにあります。それゆえ、みことばの聞き方には注意すべきです。

サタンは、人が神様のみことばを聞こえないように、理解できないように邪魔します。また、聞いても試練があればみことばを逃すように、世にあるさまざまなことでみことばから離れるようにさせ、みことばに正しい反応をすることを邪魔するのです。しかし、神様はみことばを正しく受け入れる良い地と言われる人を備えておられます。

みことばは、自らが解決できない人間の事実を語っています。

1. 自ら解決出来ない問題に溺れている人間

1) 本来の人間(創世記 1:27)
人間は、創造主の神様によって「神のかたち」に造られた存在です。神様とともにいることで幸せで十分な霊的な存在です。ほかのことではなく、神様がともにおられる、存在自体が幸せな者でした。

2) 神様を離れた人間(ローマ 3:23、ヨハネ 8:44、エペソ 2:1-3)

ところが、サタンに惑わされて神様に背き、神様を離れる罪を犯しました。罪によってすべての祝福から遮断されてしまったのです。すべての人は罪を犯したので神様の栄誉を受けることができず(ローマ 3:23)、悪魔から出た者と言われる、悪魔の子になり(ヨハ 8:44)、生まれながら神の御怒りを受けるべき子です(エペソ 2:3)。悪魔に支配された滅びの運命を抱えて生きて行くのです。それに気づくこともできず、気づいても解決できません。

証拠-自分、富、成功(勘違い)、宗教、偶像、シャーマン(だまし)

表に現れる問題をなんとかしようとして、その問題がなくなるとハレルヤと言う程度になります。自分では不可能な問題につかまっているので、自分本位で自分の意見が通ればよくて、違うなら問題だと言います。裕福で富があれば良くて、成功すれば良いと錯覚しています。世の中は勘違いだらけです。悪魔に捕らわれているまま、生き方を究めようと宗教を道具にします。また、何かの力を求めてシャーマンに頼ります。それがだましごとです。

3) 運命-身分、精神、肉体、人生、死とさばき、霊的遺産

自分では滅びの運命からは抜け出せないのです。身分が変わらないので、精神に平安や安らぎはありません。不安を抱えて生きることで肉体にも苦しみがあり、死んでからは死後にさばきがあり、勘違いのまま子孫に遺産として受け継がせていきます。

4) イスラエルの歴史と個人の人生ストーリー
イスラエルの歴史や自分の人生ストーリーの中を見れば、自分本位でうまくいくなら幸せ、いかないなら不幸となっています。

5) 宗教、哲学、努力、行い…

また、ごりやくを宗教に求め、超能力を求めます。答えもなく、さまよいます。

神様のみことばにどのように反応するかが、幸と不幸、祝福と滅びの物差しになることを覚えましょう。

2. 神様の一方的な救いの約束と成就

1) 創世記 3:15、出エジプト 3:18、イザヤ 7:14
神様は滅びの運命に捕らわれている人間に

一方的に救いの約束をされ、成就されました。それがみことばで語られていることです。最初から、女の子孫が蛇の頭を踏み砕くと、悪魔のしわざを打ちこわすキリストを約束され、身代わりとして犠牲のいけにえとなつてくださることを約束され、完璧に成し遂げてくださいました。キリストが人とともにおられる、インマヌエルとして、神様と出会う道、いのちとなる約束を成就してくださいました。

2) マタイ 16:16、ヨハネ 19:30

その約束のキリストの成就が「イエスがキリスト」という告白です。悪魔のわざを打ちこわすまことの王、罪のために犠牲のいけにえとなるまことの祭司、いのちである神様に会える道となるまことの預言者が、キリスト、イエス様です。約束どおり十字架で死んで、すべてを完了されました。すべて終わらせたというのが、みことばです

3) ローマ 10:13、ヨハネ 1:12

なにかをすればという勘違いがすべて消えて、福音だけが残ります。だれでもイエス・キリストの御名を呼ぶ者は救われます。世の中にない神様の法則です。どんな人でも、受け入れた人々は神の子どもとなりました。何

の条件也没有ありません。

4) エペソ 2:8、ヨハネ 3:16

人間ではできないので、神様が恵みによる信仰を与えてくださいました。自分がどうかという条件はまったく関係ありません。自分の問題は、神様が十字架で死ぬしか解決する方法はないと認め、自分は十字架とともに死んだことをそのまま告白しましょう。信仰による賜物です。そして、神様の無条件の愛ゆえに救われました。

これがみことばが語る内容です。

この福音のみことばを聞き「信仰によりアーメン」する人は、幸いな人(良い地)であり、祝福の人であり、神様の家族であることがあらわになります。この福音のみことばを聞き「条件を取り上げ信じない」人は、滅びの人であり、サタンの奴隷であることがあらわになります。

神様のみことばが基準です。みことばが聞こえないのは、違うものが刻印されていて主張していて、悪霊が良いものを提供して思いをくらましているからです。

改めて、Only キリスト、絶対キリストを告白し、良い地としての祝福の確信を持ち感謝しましょう！

1 部-みことばであらわに(ルカ 8:9-18)

なるほど/神様の御言葉は、自ら解決出来ない問題に溺れている人間のことと、だから神様は一方的に救いを約束されてキリストを通してその約束を成就された話であり、その御言葉は人をあらわにする。

ならば/人生に色々なことがあるだろうけど、改めて福音の御言葉の前に立って、Only キリスト、絶対キリストを告白し、「自分は幸いな人」と確信して救いの祝福を自分のものとして喜び味わおう！

2 部-勘違いで滅びる人生(マルコ 10:23-27)

なるほど/人は回復不可能な人間の根本を知らないまま、キリストの本質を逃した勘違いに走り滅びるしかないので、神様にのみ人の救いが出る。

ならば/自分の中にある以前の勘違いを切り捨て、キリスト一本に絞って救いの確信を持ち喜ぼう！